

# 平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成29年7月21日

上場会社名 株式会社ベクター  
 コード番号 2656 URL <http://www.vector.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梶並 伸博  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 梶並 京子

TEL 03-5337-6711

四半期報告書提出予定日 平成29年8月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第1四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	284	21.0	38		36		37	
29年3月期第1四半期	359	6.9	39		34		35	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	2.70	
29年3月期第1四半期	2.56	

(注)平成29年3月期第1四半期及び平成30年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	1,702	1,460	85.8
29年3月期	1,770	1,498	84.6

(参考)自己資本 30年3月期第1四半期 1,460百万円 29年3月期 1,497百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		0.00	0.00
30年3月期					
30年3月期(予想)					

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

実績を考慮した剰余金の配当を実施することを基本方針としていることから、現時点では平成30年3月期の配当については未定であります。具体的な金額が決定した時点で、速やかに開示いたします。

## 3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	600	20.1	130		130		131		9.45

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社は、第3四半期を除き通期の業績予想に代えて、翌四半期累計期間の業績予想を開示しております。詳細は、3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期1Q	13,997,000 株	29年3月期	13,997,000 株
----------	--------------	--------	--------------

期末自己株式数

30年3月期1Q	127,200 株	29年3月期	127,200 株
----------	-----------	--------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期1Q	13,869,800 株	29年3月期1Q	13,869,800 株
----------	--------------	----------	--------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

平成30年3月期第1四半期累計期間(平成29年4月1日～平成29年6月30日)におけるわが国経済は、実質GDP成長率は微増となり景気の持ち直しが持続しております。東京オリンピックに向けたインフラ建設等の需要盛り上がりと首都圏再開案件が景気押し上げの要因となり、海外経済の回復を背景に輸出増加も見込まれることから、今後も景気の持ち直し傾向が持続する見通しです。一方、実質賃金の落ち込みから個人消費は伸び悩む結果となりました。

当社の事業領域であるオンラインゲーム業界は、国内市場全体は成長しておりますが、その主たる要因はスマートフォンゲームによるものであります。パソコンや家庭用コンシューマー機を使ったゲームユーザー層の平均年齢は上昇傾向となっております。一方、若年層ユーザーはスマートフォンアプリゲームが中心となっており、スマートフォンのみをプレイをユーザーが増加しております。

ソフトウェア販売を取り巻く環境としましては、前年度の国内パソコン出荷台数は昨年対比で微減となり、そのうち個人向けは減少、法人向けは増加と明暗がはっきりと分かれております。今後の出荷台数は個人向けが横ばい、法人向けは増加となる見込みであります。

このような環境のもと、当第1四半期のオンラインゲーム事業の営業収益は、前期中にサービスを開始したゲームタイトルの不振により、当第1四半期の営業収益を底上げすることができず、前年同四半期と比べて減収の結果となりました。

ソフトウェア販売事業につきましては、販売施策等が好調に推移したことより当第1四半期の営業収益は前年同四半期と比べて増収の結果となりました。法人向け市場が底堅く推移していることも増収の要因であります。

営業費用につきましては、前年同四半期と比べて大幅に減少しております。前年同四半期においてスマートフォンゲームにかかる広告宣伝費が、当第1四半期には無かったことによるものであります。その他、無形固定資産の減価償却費も減少しております。

以上の結果、当第1四半期累計期間の営業収益は2億84百万円(前年同期比21.0%減)、営業損失は38百万円(前年同期は39百万円の営業損失)、経常損失は36百万円(前年同期は34百万円の経常損失)、四半期純損失37百万円(前年同期は35百万円の四半期純損失)となりました。

当第1四半期累計期間のセグメント別販売実績については、以下のとおりであります。

(単位：千円、%)

	第30期第1四半期累計期間		
	金額	前年同期比	構成比
オンラインゲーム事業	178,976	△30.6	63.0
ソフトウェア販売事業	84,947	5.6	29.9
サイト広告販売事業	13,688	△20.0	4.8
その他	6,633	49.0	2.3
合計	284,245	△21.0	100.0

## オンラインゲーム事業

当第1四半期累計期間におけるオンラインゲーム事業の販売金額は、1億78百万円(前年同期比30.6%減)となりました。当第1四半期累計期間において、当社運営のゲームポータル「VectorGame」でのチャネリングサービスタイトルが1タイトル増加し、平成29年4月よりスマートフォンアプリ「B.LEAGUE ドリームアリーナ」の運営を開始しました。

ゲームの区分と運営タイトル数については以下のとおりであります。

	第29期末	第30期第1四半期 累計期間		第30期 第1四半期末
		増加	減少	
従来型オンラインゲーム ※1	5	—	—	5
ブラウザゲーム ※2	19	1	—	20
スマートフォンゲーム	1	1	—	2
合計	25	2	—	27

(注)1. クライアントソフトをパソコンにダウンロードするもの

2. パソコンのブラウザ上で起動するダウンロード不要のもの

## ソフトウェア販売事業

当第1四半期累計期間におけるソフトウェア販売事業の販売金額は、84百万円(前年同期比5.6%増)となりました。ソフトウェアのダウンロード販売事業は、個人向けの有料パソコンソフトの需要は減少傾向が続いておりますが、各種販売施策による販売及び法人向けの販売が堅調に推移したことにより前年同期比で増加に転じました。

## サイト広告販売事業

当第1四半期累計期間におけるサイト広告販売事業の販売金額は、13百万円(前年同期比20.0%減)となりました。ネットワーク配信型広告(キーワード広告、ユーザーの傾向を分析する行動ターゲティング広告等)の販売額の最大化を目指して各種施策を実施しておりますが、サイトページビュー数の減少傾向に歯止めがかからず、営業収益の減少傾向は継続しております。

## その他

当第1四半期累計期間におけるその他の販売金額は、6百万円(前年同期比49.0%増)となりました。その他の販売金額には、ゲーム以外のスマートフォン向けサービスの販売金額が含まれております。

## (2) 財政状態に関する説明

## 財政状況の変動状況

当第1四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末に比べ68百万円減少して17億2百万円となりました。また、負債合計が前事業年度末に比べ30百万円減少して2億41百万円となり、純資産合計が前事業年度末に比べ37百万円減少して14億60百万円となりました。

## (資産)

流動資産減少の主な要因は、現金及び預金が12百万円増加したものの、有価証券が1億円、売掛金が21百万円、その他が4百万円減少したことによるものです。

固定資産増加の主な要因は、無形固定資産が45百万円増加したこと等によるものです。

## (負債)

流動負債減少の主な要因は、買掛金が5百万円、未払法人税等が5百万円、賞与引当金が12百万円、その他が8百万円減少したことによるものです。

固定負債増加の主な要因は、退職給付引当金が1百万円増加したこと等によるものです。

## (純資産)

純資産減少の主な要因は、四半期純損失37百万円を計上したこと等によるものです。

また、自己資本比率は85.8%となりました。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、オンラインゲーム事業が主たる事業となっております。当該事業の業績は、ゲームタイトル毎の顧客数、課金率、課金単価の動向に大きく影響を受けます。また、新規性が高い事業であるため、収益変動要因も多く、現段階では合理的な業績予想数値の算定を行うことが困難であります。そのため、第3四半期を除き、通期の業績予想に代えて、翌四半期累計期間の業績予想を開示しております。

平成30年3月期第2四半期累計期間の業績は、営業収益6億円(前年同四半期は7億51百万円 20.1%減)、営業損失1億30百万円(前年同四半期は46百万円の営業損失)、経常損失1億30百万円(前年同四半期は40百万円の経常損失)、四半期純損失1億31百万円(前年同四半期は1億20百万円の四半期純損失)を見込んでおります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,089,761	1,102,157
売掛金	174,912	153,390
有価証券	400,000	300,000
その他	37,088	32,520
流動資産合計	1,701,763	1,588,068
固定資産		
有形固定資産	3,123	2,943
無形固定資産		
ソフトウェア	18,718	12,823
その他	1,302	53,109
無形固定資産合計	20,020	65,932
投資その他の資産	45,781	45,090
固定資産合計	68,925	113,967
資産合計	1,770,689	1,702,035
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	77,133	71,695
未払法人税等	8,786	3,434
賞与引当金	25,214	12,398
その他	116,580	108,054
流動負債合計	227,715	195,582
固定負債		
退職給付引当金	42,600	44,017
繰延税金負債	2,360	2,213
固定負債合計	44,960	46,230
負債合計	272,676	241,812
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,017,210	1,017,210
資本剰余金	1,406,208	1,406,208
利益剰余金	△835,822	△873,279
自己株式	△94,952	△94,952
株主資本合計	1,492,644	1,455,187
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,347	5,014
評価・換算差額等合計	5,347	5,014
新株予約権	20	20
純資産合計	1,498,012	1,460,222
負債純資産合計	1,770,689	1,702,035

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
営業収益	359,737	284,245
営業費用	399,285	322,984
営業損失(△)	△39,547	△38,738
営業外収益		
受取利息	1,753	1,236
受取配当金	170	170
為替差益	-	289
受取手数料	171	158
違約金収入	5,904	-
その他	44	0
営業外収益合計	8,043	1,854
営業外費用		
為替差損	2,733	-
営業外費用合計	2,733	-
経常損失(△)	△34,236	△36,884
特別損失		
固定資産除却損	663	-
特別損失合計	663	-
税引前四半期純損失(△)	△34,900	△36,884
法人税、住民税及び事業税	572	572
法人税等調整額	-	-
法人税等合計	572	572
四半期純損失(△)	△35,472	△37,456

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。